

主な活動の紹介

本年度は、地域協育ネット協議会立ち上げの準備期間ですが、地域協育ネットコーディネーター等の動きによって、新たな学校支援活動が実現しましたので紹介します。

活動事例1 岩国中学校 総合的な学習の時間「職業講話」

岩国中学校区には、「岩国地区生徒指導推進協議会」があり、以前から地区の子どもたちの健全育成の活動をしてきました。同協議会の会長（地域協育ネットコーディネーター）は、錦帯橋架け替えに携わった一級建築士として活躍しています。職業講話は、キャリア学習の一環として1年生を対象に実施しました。



「職業講話」

講師の方からは「錦帯橋掛け替えには、多くの人々の協力が必要であったこと」や「錦帯橋掛け替えには高い技術力が必要であり、そのためには基礎学力が大切であるので、現在、学習していることをおろそかにしないこと」など興味深い講話をしていただき、生徒は熱心に聞き入っていました。

活動事例2 御庄小学校 総合的な学習の時間「昔のことを知ろう」

国語科

岩国市の歴史について研究しておられる地域の方を講師に、「昔のことを知ろう」というテーマで5コマ分の授業を行いました。この授業では「ふるさと岩国の文化や歴史について、地域の方々から学んだり、見学を通して調べたりしたことをまとめる」ことや「聞いたり調べたりしたことをもとに岩国の良さが伝わるような観光パンフレットを作成し、実際に観光客に配布する」ことを行いました。



「昔のことを知ろう」

児童は、講師の話に熱心に耳を傾け、自分たちで作成したパンフレットを錦帯橋近辺で観光客に配布し説明しました。児童は、観光客に熱心に話を聞いていただき、充実感一杯の表情を見せていました。

成果と課題

岩国中学校は、前述したように10数年前から近隣の小規模校と統合を繰り返してきて、生徒数が増え校区が広がってきました。数年前から、校区内の小・中学校で小中連携教育を進めてきましたが、岩国地域協育ネットの立ち上げにより、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみで子どもたちを育てていく取組がより一層推進されることは大変意義のあることです。

しかしながら、幼稚園や保育園については、共働き家庭が増えたためか、母親の就業先の近辺の幼稚園や保育園に子どもを通わせる家庭が多くなり、居住地との不一致が増えています。

幼保との連携については、これまでも各小学校を中心に取組んできましたが、今後、いかに綿密に進めていくかが課題となっています。

今後の取組

現在は、岩国中学校区の小・中学校を中心とした活動ですが、今後は校区内の幼稚園・保育園や青少年の育成に関わる諸団体、社会福祉協議会、公民館等との連携を図りながら、岩国地域協育ネットを更に発展させることを目標としています。

また、岩国地域協育ネット協議会準備委員会の中で、数年前からの中学校の統合により、中学生の姿が地域で見えないという意見もありましたので、来年度は中学生が地域に出かけて行って、出身小学校の児童と一緒に清掃活動をするを計画しています。

この取組は始まったばかりなので、試行錯誤を繰り返しながら、県内の先進地区の取組を参考にし、地域協育ネットのねらいにせまる有効な手立てを模索しながら取組みたいと思っています。